

科目名	経済学Ⅱ	JABEE科目	科目コード 045
-----	------	---------	--------------

学年・学科等名	4・5 学年	全学科	選択科目
単位数・開講期	1 単位	後期	
総時間数	45 時間	講義＋教室内自学自習 30 + 自学自習 15	
担当教員	根本 聡		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	3
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	105一般基礎科目社会系
	教育プログラムの学習・教育目標	B-1(20%) B-2(60%) B-3(20%)
	JABEE基準	abd

教科書名	特に指定しない。
補助教材	図版、プリント、地図、新聞等。
参考書	随時紹介する。

A. 科目の概要と到達目標

現在は、政治・経済・社会・文化の面における一大転換期であり、経済主義的なものの見方にも大きな反省が迫られ、経済学自体も変化している。本講義では、経済に関する基本知識と経済学的思考法を身につけながら、変化のなかにあるさまざまな経済社会と世界経済との相互関係について、多面的・構造的にとらえる目を養い、新しい経済の可能性と未来へのビジョンを描くことを目指す。第二の目標は、環境経済学や開発経済学の知見を取り入れることによって、地域に根ざしつつも、グローバルな視点で考えることができるようにすることである。

B. 概要

経済学Ⅰに引き続いて、経済学の基本的概念について学習する。その際、とくに国際経済学に力点をおくことにする。さらに、以下の点にも注目したい。第一に、日本経済について歴史の経緯に学びながら現代の問題点を探る。第二に、経済活動を総体としての社会全体の視点から考察する。第三に、「新しい経済学」や「エコ・エコノミー」から指摘されている視点もふまえて、「開発」や「貧困」といった分野にも分析のメスをいれる。以上の課題は、そのときどきの経済学者の思考法から学ぶことにする。

C. 学習上の留意点

時事問題はもちろん、歴史に学ぶことが重要である、多分野に関心をもつことも望まれる。そして、講義で喚起された諸問題を、自ら探求・調査し、自らの頭で考える姿勢が求められる。

D. 評価方法

試験(100%)

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容	教育プログラム
1. オリエンテーション	2	現代日本のさまざまな経済問題の根本原因を理解し、経済学の重要性を認識することができる。	B-1 B-2
2. ミクロ経済学 (1)経済学の基礎 (2)市場の力学と市場の失敗 (3)競争的企業と大企業	8	経済学の基本的な概念について学習する。 有効需要の理論を理解することができる。 経営者の仕事全体にふれつつ、大企業を社会的な観点から評価し、それが引き起こす諸問題について考察することができる。 独占や寡占の問題点を理解することができる。	B-1 B-2

授業項目	時間	内 容	教育 プログラム
4. 失業と貧困 (1)人間の労働 (2)能力開発	5	市場メカニズムが解決できない問題に挑む。 公共政策に関する問題の重要性と複雑さを理解することができる。 開発経済学を参考に、人間の能力開発という視点から労働と開発を再考し、「よい生活」とは何かという経済の本質を理解することができる。	B-1 B-2 B-3
(後期中間試験)			
4. 国際経済学の基礎 (1)比較優位学説 (2)自由貿易の是非論をめぐって (3)国際収支	8	国際経済学の基本概念を理解することができる。 比較優位学説について理解することができる。 ヘクシャー・オーリン・サミュエルソンの定理を理解することができる。 複式簿記の画期性について理解することができる。	B-1 B-2 B-3
5. 新しい経済学と世界 (1)環境経済学 (2)日本経済 (3)ヨーロッパ経済 (4)都市 (5)人間のための経済学	7	新しい経済学の潮流や環境経済学からの提案を通じて、新しい経済の可能性を考察し、未来へのビジョンを描くことができる。 環境問題を経済学的に考察することができる。 「よい社会」とは何か。「豊かな社会」の問題点を認識し、本当の豊かさをめぐる議論を深めることができ、福祉社会論に高めることができる。 日本とEUを事例に、アメリカによるグローバル化とそれに拮抗する潮流をふまえて、世界経済の諸問題を考察することができる。 都市経済と周辺地域、大企業と中小企業やアトリエ的工房との対比の中から、あるべき未来の都市像について議論することができる。 環境や公共性を重んじた人間のための経済に関するビジョンを提示することができる。	B-1 B-2 B-3
(学年末試験)			
◆自学自習 ・課題によるレポート ・定期試験の準備	15	自学自習時間として、日常授業のための予習や復習、および資料調査や論述といった試験等のための準備学習にあてることができる。	B-1 B-2 B-3

F. 関連科目

社会、歴史、地理、数学、法学、経済学 I、政治学、史学、哲学、文学、心理学、国際関係論、国語、英語、自然科学概論、産業財産権論